

第66回 創立記念式典

松本県ヶ丘高等学校の第66回創立記念式典が、本年4月21日、母校体育館に於いて盛大に行なわれた。記念講演の講師は、東京同窓会から高校12回同期生の2名により、それぞれの専門分野から興味深いテーマを題材に、意義ある講演が行なわれた。

【写真は在校生を魅了した講演会】



珊瑚会の杉本、丸山両君が記念講演

会報あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所
松本県ヶ丘高等学校東京同窓会
〒100 東京都千代田区
大手町2-6-2日本ビル6F
東南貿易株式会社内
TEL 03-279-2771(代)
発行人 大澤清重

【第23回開催実行委員長 小出智男】

平成二年の総会を開催するにあたり、実行委員を始め、多数の参加をいただきました事、同窓生の皆様に心より感謝申し上げます。

げます。

母校の発展と共に、我が東京同窓会も増々隆盛の道を歩み、伝統の誇りと同窓生の和を守るべく、我々一致団結して頑張つてゆく所存であります。

例年通り開校記念式典が行なわれ、今回初めての試みとして珊瑚会(第12回・昭和35年卒)から、葛南病院小児科部長の杉本青永、アイ・アンド・エス社業務管理部長の丸山卓郎の両君が、記念講演の講師を務めた。二時間近い講演であったにもかかわらず、ユニークな内容と卓越した両講師の熱のこもった語りかけに、千人以上もの在校生は、実に整然と聴講し、創立記念日にふさわしい、有意義な記念講演となった。

「たばこは心の日曜日、ほんとかな？」

医学博士の杉本君は県陸生徒諸君を喫煙予備軍としてタバコの害、特に妊婦に及ぼす喫煙の害について、胎児や母体への悪影響を訴えた。

法律上、未成年者のタバコは勿論のこと、最近では成人の、それも管理職への昇進の条件にまでタバコを喫わないことが必須とされ、さらに結婚適齢期の女性が選ぶ男性の条件にも加えられていることを説いた。

「広告社会の元気です」

丸山君は広告業界の実践派として、数々の広告賞を受けセーブルコミュニケーションとして活躍している立場からの現況報告。若者に強い人気のある宮沢りえの大きなポスターを示して、マスメディアやSP媒体の内容を説明した。広告効果の話題のなかでとりあげたのは、県陵サッカー部が昨年、全国大会へ出場して善戦し、その名を全国に知らしめたこと。このことがCM業界で同じ効果を狙うには、どれ程の費用を要するかと想像させた。結論として、この業界で求める人材は、管理教育の畑で育った平均的学力を持った者でなく、一芸に秀でた得意分野を持つ人に着目しているとして、聴衆を感激させて終った。

(東京珊瑚会からの出席者
宮川・山田・中川・西山・百瀬)

珊瑚会より母校への



記念講演会が終了後、珊瑚会会長・古畑昭夫君より、母校に対し記念品目録が手渡された。

目録内容は愛のレリー図書券代三十万円、本校同窓会館等設備助成寄附金五十万円、小林栄一校長がこれを受領した。

連帯と協調と友愛と……

松本県ヶ丘高等学校同窓会
会長 大野 喜佐雄(中11回)

松本県ヶ丘高校東京同窓会の活発な活動については、かねてより仄聞しておりました。会長に就任し各方面からお話を聞き、改めて敬意と心強さを感じております。

小生、昨年六月の総会において、選考委員会の議を経て思いがけない本会の会長に指名されました。「私で良いのか、私に出来るのか」という思いが不安感につながり、しばし忸怩たる心境になりました。長らく医師会長をはじめ各種医療関係の役職に関係し、同窓会に心ではつながりながら、実質的活動に参加することが出来ずいたからです。経験豊かな副会長、役員諸氏の温かい激励をうけ、皆様のサポートをいただきながら能力の限界までやってみようと、不肖不敏を顧み

ずお引受けしたのが実情です。母校も新たに四百五十名の新入生を迎え、共に三百五十名の卒業生を送り出しました。同窓生も一万八千六百名を越し、県下でも屈指の名門校として発展を遂げています。藤木、樋口、笠原、小川と続く各会長の下で同窓会もゆるぎない基盤を固めました。間もなく二万名を擁する大同窓会になることを直視しての対応が必要となります。就任直後五年を節目とする名簿発刊、懸案であった同窓会館の全面的改革が待っており、新たに就任した藤沢事務局長が中心となり、各回の編集委員の精力的な努力の下でほぼ満足出来る名簿が完成いたしました。この場をお借りして東京地区会員の皆様の賛助広告に対し

皆様、並びに本年担当の高12回卒の皆様の御努力により開催される事、万感胸に迫るものを感じます。



新時代の同窓会へ

東京同窓会会長 根本静夫(中5回)

栄えある一九九〇年、この年、わが母校もその建学以来六十六年を数えるに至りました。東京同窓会も当初のうちは、中学卒業者が現在の若い皆様方のちよつとした仲間の集いという形で始まったものです。その会が本年の総会

政治・経済・文化の中心である首都東京に、打って出てきたあ

お礼申し上げます。当初四千部の発行予定に対し、前回を大きく上回る七千部を越える申し込みがあったこと、同窓生の母校同窓会に寄せる熱き思いに心うたれました。会館改修についても建設委員諸氏の熱意が結集して、従来と面目を一新した会館が完成、三月末に引渡しが完了しました。一階に事務室(事務員一名常駐)、洋式会議室(三十名収容)、調理室、資料室、洗面所、トイレ等を配置、二階は一号室から四号室までの和室を造りました。現在、門柱、フェンスなどの付帯工事中ですが、既に使用可能な状態です。事務局長や役員も、常駐事務員に指示し年間、会館で執務出来る態勢となりました。何より会員や支部との連絡も円滑に行なうことが可能となったことを嬉しく思います。また母校の教職員、生徒の研修やクラブ活動の拠点として一層活性化すると思っております。あくまでも私案ですが、将

の頃の意気込みと、或る種の不安とが入り混った当時の私共の心の拠としての集いが、かくも盛大に、強力に なりました。やがて来る21世紀に向けて、心身共に健全な、新しい時代を背負う若い皆様方の御活躍を願って、お祝いの辞にか

来は大型連休等で旅館、ホテル等が利用出来ない場合は、遠隔地会員の宿泊施設としても当会館が利用出来るようにしたいと考えています。

平成元年度の事業概要の主たるものは以上の通りですが、今後常任理事会で審議していただき、総会に提案したい、いくつかの事項について述べてみます。県陵で学び、社会人として活躍(あるいはリタイヤ)した同窓生の母校に寄せるロマンを大切にしたいと思えます。そのため第一に会員、支部と同窓会との連絡を密にすること、第二に同窓会会報の発行。この中には総会決議事項、会員の自由投稿、母校の現状、会員の慶弔、支部の報告等が含まれます。第三に生徒の部活動への可能な範囲での補助、第四に大切な同窓会館ならびに財産の維持管理であります。第五に地域、転域支部への傾斜配分を考慮した援助も必要でしょう。

以上のことを実現するために は定款の多少の手直しと恒常財源が必要となります。なるべく少額にしたいと思いますが、年会費をご負担していただけたらと思っております。

最後に東京同窓会の弥栄を祈り、ごあいさついたします。

結論として連帯と協調の中で友愛の場を広げていきたい、この思いが同窓会の発展につながることを念じています。

輸出・国内販売

鉄鉱石・石炭・鉄鋼原料全般・鉄鋼製品
各種産業機械・石油製品・化学工業薬品

東南貿易株式会社

代表取締役社長 根本静夫(中学5回卒)

(本社) 東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル6F
TEL (03) 279-2771-8
(出張所) 君津・名古屋・広畑・八幡・大分・大阪
(給油所) 大分
(駐在員事務所) シンガポール・マレーシア・インドネシア・台北

弁護士 樋口和博
(中学11回)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4-1-5
市ヶ谷法曹ビル203号室
☎ 03-230-4005

自宅 〒157 東京都世田谷区喜多見町5-21-15
☎ 03-416-2904

東京タワー観光株式会社

代表取締役社長 **大澤清重**
(中学13回卒)

明治大学理事 評議員
㈱エフエム東京取締役

東京都港区芝公園4-2-8
電話 03-433-5111

同窓会館の新装成る

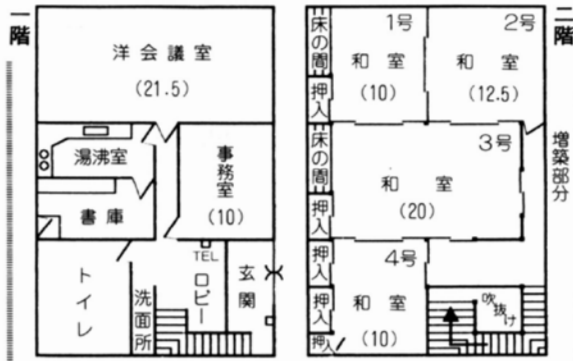
創立65周年記念事業の一部として計画されていた母校同窓会館増改築新装工事が、県陵出身者の関係した業者によって施工され、本年3月若干の付帯工事を残して落成の運びとなった。建物の設計、施工及び設備、備品などの内装費用を含めた二、〇〇〇万円にも及ぶ費用が「母校愛のリレー」に寄せられた同窓会会員諸氏の御協力による。

創立65周年記念事業の一部として計画されていた母校同窓会館増改築新装工事が、県陵出身者の関係した業者によって施工され、本年3月若干の付帯工事を残して落成の運びとなった。建物の設計、施工及び設備、備品などの内装費用を含めた二、〇〇〇万円にも及ぶ費用が「母校愛のリレー」に寄せられた同窓会会員諸氏の御協力による。



玄関と事務室
定した。理事会で決
その管理、使用の規定
同窓会常任理事会にて
なつたのを機に、本部
受け使用できることと
会館の完成引渡しを
ことになるであろう。
生の拠点として役立つ
あかしがまた一つ同窓
校を愛する会員諸氏の
る寄附金から成り、母
事務局(問い合わせ先)
電話 〇二六三三三三〇六六六
増築部分

同窓会館平面図



親睦と連携を

東京同窓会幹事長 大澤清重(中13回)

新緑の5月、会員の皆様益々御健勝の事とお喜び申し上げます。恒例の東京同窓会も数えて23回を迎え、本年も、私学会館において珊瑚会(高校12回・昭和35年卒)の御尽力により開催の運びとなりました。これも偏に会長を始め会員各位のご協力

の賜と本紙をお借りして、心から厚くお礼申し上げます。今後共、会員相互の親睦、連携をより発展させるべく努力して参りたいと念願している次第です。結びに会員皆様方の御健勝と御発展を念じてご挨拶いたします。

親善ゴルフコンペ開催

5月22日、同窓会会員25名参加による恒例のコンペが、湘南シィサイドCCCにおいて行なわれた。樋口和博氏を始め参加者は高13回の小林秋男氏まで多彩であったが、同窓会の親善コンペ特有のなごやかな雰囲気のうちホールアウトとなった。このコンペは既に20年もの歴史があり由緒ある優勝杯、準優勝杯が用意され、本年の優勝は北條宗敬氏(高7回)であった。

県陵サッカー 全国大会へ

伝統ある我が県陵サッカー部が、宿願の全国大会への出場を果たした。

昨年11月、茅野で行われた県予選の決勝戦、相手校は一昨年1対2で敗れた宿敵上田のチームである。松田正己監督率いる県陵イレブンは、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、ワンゴールの最小得点を守って、全国大会への出場を決めた。監督の優勝談話「予選ではベストフォー位には残って居るだろうというプレッシャーはありましたが、中信予選の戦い振りや選抜に出場した選手が二名いる事などを含め、選手一丸となつて一戦一戦を大事にやっていたら、かなりのところまでやってくれるのではないかと思っていました。」と自信の程を示してくれた。

年が明け、平成2年正月、国立競技場の開会式のと、初戦は駒沢グラウンドで和歌山工業との対戦となった。3対2と苦戦ではあったが、初戦をクリアした県陵イレブンののしかかったのは、二戦目の相手があつた優勝候補と目されている国見高校と決まった事。松田監督は「胸を借りるつもりでいこう、相手を簡単に勝たせるな」と選手を励ました。結果は4点をあげられ敗退したが、選手17名の戦い振りは実に見事であり賞讃に値するものがあつた。これを契機に今後の県陵サッカー部の動向に注目してゆきたいところである。

製造・販売種目

- 炭素製品全般
- クロレラ食品全般

株式会社 相(アイデン)伝

代表取締役 堀切競雄(高校2回)

本社 東京都千代田区神田練堀町73番地
電話 03(253)6935, 1036

埼玉工場 埼玉県三郷市番匠免1 6 6-1
電話 0489(52)6422, 6067

「証券貯蓄で豊かな明日を…」

株式会社・国債・割引債
社債・端株(全銘柄)

三澤屋証券

常務取締役 矢島弘基(高1回)

本社 03(667)4411 上尾支店 0487(74)1211
茅場町支店 03(667)3146 戸塚支店 045(881)2941
渋谷支店 03(463)0481 松戸支店 0473(61)8661
船橋支店 0474(23)4321

松岡歯科医院

松岡博一
(中13回)

東京都文京区本郷5-28-5
TEL 03-811-7682

恩師からのメッセージ

追憶三昧

往時の想い出の一端

A組担任 赤羽富男

天めぐり地転じて、今年も緑の季節を迎えました。いまや第一線で活躍中の在京十二回卒の皆さんのご活躍を心からお慶びいたします。

特に本年は卒業三十周年という記念すべき年に当たり、東京同窓会開催を一手に引き受け、更に四月には、新装成った母校での記念行事・祝賀会の計画、運営等何かとご苦労様です。母校を思う熱情に心から敬意を表します。

昨年は東京同窓会と、十一回生の母校での記念行事に列席させていただきました。直接その盛会ぶりに接し感激いたしました。今年も更に充実発展を期せられますよう期待いたします。

過日、東京同窓会会報担当の百瀬興一君より「往時の想い出などの一端」を寄せてほしい旨の連絡を受けました。三十年の時間を何とか手元に引き戻し、煙霧の底にかすかにうごめく幻影の二・三を羅列し、埋め草としてその責を果たしたいと思っております。

皆さんが入学した三十二年四月、私は一Aの担任でした。その年の夏休み、クラス全員で行った蓼科高原でのキャンプ生活が印象に残っています。クラスの水野陸明君

のお父さんが松本自衛隊の上級幹部におられた関係で、幾張りかの自衛隊のテントを借用しての野外宿泊は快適で、散策に、水泳に、野外学習にと、長期休みという解放感もあって協調と団結を深めることが出来ました。

三泊四日の行事を終って帰校し、無事終了を報告し終えたとなんに、生徒会顧問をしていた関係からか甲子園大会信越地区予選に出場の野球部の応援バスの引率責任者を申し渡され、翌八月一日、午後八時、松本駅を出発し一路新潟白山球場に向いました。皆さんの中にも同行された方もあらうと思えます。長野県代表は、県ヶ丘・松商・上田松尾・飯田高校の四校で、

わが県陵は「Bクラスが残った」というありがたい新しい新聞辞令をもらい、応援団も一晩で帰るつもりが、第一戦は新潟最強の長岡商を4対1、第二戦は新潟商を3対0で敗り、上田松尾との県勢同志の決勝戦となったが、結局4対2で措敗し甲子園への夢は絶たれました。その間、応援団の宿舎がさしにとびまわり、やつと高校の体育館を借り、アンペラを敷いて四夜を暑さと蚊に攻め立てられた悪戦苦闘の思い出は忘れ得ません。

思えば皆さんの今の年より十二・三ほど若かったので頑張れたのでしよう。三十三年頃からだったか、学力の充実、進学の上を目指して十分授業が真剣に検討され、やがて実施に移されたことも記憶に残ることです。五十分授業だと一日三分なのに、七十分授業で一日五時間になると三百五十分で一日五十分多く授業ができ一週間だと約三時間を生み出すことになりました。二、三年して六十五分としましたが、その後何年か続けられました。皆さんの頃は果してどうであったか、私の記憶は定かではありません。

また一方で、進学の実を挙げるための特別クラス編成も試みられ皆さんの頃は多分行われていたと思います。功罪いろいろありましたが、しばらくして中止されたところからみると、罪の方が多かったのでしょう。生徒会活動、校内の協調融和、その他で確かに問題が残ったと思います。県陵の歴史の中に残る試行錯誤の一例でしょう。またそれだけ、当時進学の実をいかに挙げるかに、学校としても躍起となっていた事情の一端を物語っています。

思い出すまま、とりとめもない古い繰り言をくたくだ並べました。紙面も尽きてきたのでこの辺でやめます。再び還らざる若き日を想起するよすがとしていただければ幸いです。

十二回生の一層のご活躍を切に祈念いたします。これを書いている最中にも、母校応援団のタイコ音と「槍峯おろし……」の合唱が、風のまにまに流れてきています。(四月末日)

通信簿の思い出

B組担任 巢山正春

ツウ・シン・ボと云う言葉を今あらためて咬いてみると、昔の小学校時代を懐かしく思い出させる響きがある。子供の頃は意味も判らずに「ツウシンボ、ツウシンボ」と言っていたが、漢字に書いてみれば成程親に知らせる帳簿の形態をしていた。それは甲乙丙丁戊の評価があつた子供の中には甲は蠅叩きのようだったし、乙はアヒルのように見えた。成績の悪いのを一兵隊

ころからみると、罪の方が多かったのでしょう。生徒会活動、校内の協調融和、その他で確かに問題が残ったと思います。県陵の歴史の中に残る試行錯誤の一例でしょう。またそれだけ、当時進学の実をいかに挙げるかに、学校としても躍起となっていた事情の一端を物語っています。

思い出すまま、とりとめもない古い繰り言をくたくだ並べました。紙面も尽きてきたのでこの辺でやめます。再び還らざる若き日を想起するよすがとしていただければ幸いです。

十二回生の一層のご活躍を切に祈念いたします。これを書いている最中にも、母校応援団のタイコ音と「槍峯おろし……」の合唱が、風のまにまに流れてきています。(四月末日)

(丙丁)さんが棒(戊)をかっただ。ような通信簿と言っていた。甲を幾つも貰うと次の学年の国語の教科書を、又皆勤すれば修身の教科書を、終業式の日には甲乙丙丁戊の評価があつた子供の中には甲は蠅叩きのようだったし、乙はアヒルのようだった。成績の悪いのを一兵隊

ころからみると、罪の方が多かったのでしょう。生徒会活動、校内の協調融和、その他で確かに問題が残ったと思います。県陵の歴史の中に残る試行錯誤の一例でしょう。またそれだけ、当時進学の実をいかに挙げるかに、学校としても躍起となっていた事情の一端を物語っています。

山岸光臣法律事務所
弁護士 山岸光臣 (高校3回)

〒101 東京都千代田区神田佐久間町1-14
第2東ビル8F 801号室
電話 03-255-2700
03-255-2709

東京特建ナショナル住宅株式会社
常務取締役 山賀一弘 (高校3回)
本社 〒113 東京都文京区本駒込6-5-17
TEL 03-943-6611(代表)
FAX 03-943-6610

アルベンの信頼で
電話1本宅配便利用!
県陵生O.B特別割引
オオツキ ゴルフ プロショップ
〒253 神奈川県茅ヶ崎市 東海岸南2-1-1
TEL 0467-87-0228
代表取締役 大月実 (高校4回卒)

歯切れが悪くて、私の「性」に合わず授業はどうもなじめなかつた。サボって適当にやっていたら、通知表の化学が丙とききた時は「へえー」と驚いた。それでもまだ勉強する気にならないうでお茶を濁していた。いよいよ卒業間近になり将来若しもう兵隊にとられたら薬剤官になろうと思つたが、それには入試に化学が必要とわかり、さてもさても困つた事になつたと、後悔しきりだつた。今更嘆いても仕方がなくて「やるっきやない」と女党首のような覚悟をきめて頑張る事にした。まず作戦をたてた。化学ではどうせ点は稼げない、キズにさえならなければ良いと考え、大名町の明倫堂に行き内容は無視して兎に角一番薄い参考書を探して買って来た。「何が何でも覚えろ」と一ヶ月程猛勉強した。アキラ不思議や、化学とはこんなものかと目から鱗が落ちたように問題がスイスイと出来るようになってしまった。

本番の入試でも一番点を稼いだのは化学だつたかもしれない。最も苦手だつた化学が一生の飯の糧となつたのだから、人生は面白いものだ。

学校の成績は、人間の或る時の或る一面の評価に過ぎないような気がする。ご存知のように甲乙丙の評価は十干(甲乙丙丁戊己庚辛壬癸)のうち始めの五つだけを採用したのだから、成績分類はあまり細かく分けず五

段階位が適当と考えて、決めたのだろう。現在でも正式には54321の五段階がきているようだ。

退職した現在では至極もつともな意見と思うが、現役で進学校に勤めた時は、そんなのんびりしたことも言つてられない。生徒を叱咤激励し、一歩でも前進させよかつとして、勤惰の結果がよくわかつて励みになるようにと、生の百点満点の素点を通知表に記入するようになっていた。各教科の担任から来る点票を一覧表に写し、間違いないかを確かめるために縦横のそれぞれ合計を出して調べた。然し其の仕事は大変だつた。昭和三十年代で今のような計算器もなく、専らソロバンでパチパチと計算して職員室は閉店後の銀行さながらの様相だつた。たどたどしいソロバンの音。「できたア」と歓声をあげて喜ぶ先生。必死で写し間違いを探している先生。あの光景は今でも目に浮ぶ。

東京に来てから毎年、東京同窓会にお招きをいただき出席していますが、年々に新しい趣向があつたりして楽しみな会合です。昔の先生方にお会いできるのも嬉しい事です。卒業したての新同窓会員が多数参加するの、ほかではみられない良い制度のためと思つていきます。益々の発展を祈念します。

可憐な草木を肴に一杯

D組担任 吉澤 順

先日はお電話ありがとうございました。皆様お元気の様子何よりです。

さて私は、家居その上隠居して妻と二人ひっそりと静かに暮らしております。晴耕雨読を夢見て喜び勇んで退職しましたが、浮世は何と雑用の多い事か、その後十年駄目でした。この二年やと少し自由になりました。それでも家庭の雑事があり、この三・四日少し頑張るすぎて昨夜腰痛、今日は部屋に籠ることになり、やととペンをとる次第です。

第十二回の私のHRの名簿を出して見ましたが、住所に若干変更を要する所を発見したりして往時を偲んでいます。二十五年連続HRを六年間持つて、一年休み諸君は私にとつて三回目のHR学年でした。諸君達が来る前にプールの素掘りをやつた事、夏休み中の補習授業で八月六日〜十二日の間にグラランドのポプラの葉が白く裏返り秋の到来を知つた事、諸君の在学中だつたと思ひますが七分授業をやつた事、諸君等が卒業した年から政治活動が始まつた事等思い出しました。私も若かつたなりノ県陵生が好きだつた。この上なく好きだつた。敗戦引揚げの身の私にとつて虚脱無力感を吹き飛ばしてくれたのは諸君達だつた。本当に感謝しています。県陵は私の心の母校だ。以来私の人生の主柱だつた。

だが私は県陵でよい友人にも恵まれて実によく飲んだ。だつて皆余り早く校門を出る事がなく夕暮れ時だつたから仕方ないんですよ。その飲み屋も今は姿を消している。時勢が變つたのかな。私も飲みに行く気もなくなつた。尽きない思い出にふと眼を窓外にやれば私の庭にも桃、白木蓮が咲いている。木瓜の赤い花は強すぎる。庭梅の白はよい。桜草、叡山草は可憐です。一杯飲みたくなる気分です。だが昼日中は駄目と妻は申します。腰も痛いし。老人になりました。

当時の同僚友人の多くは現役を去り、若干の人は亡くなりました。世代の交替を実感します。社会は諸君達にまかされていく。十字に荒ぶれ狂う風の中で、大道を弱音をはかず闊歩して下さい。それには先ず健康第一です。心して元気でいて下さい。懐しさの余り拙筆駄文を連ねましたが本日はこの辺で擱筆致します。

諸君の御健勝、御多幸を祈るや切なるものあり。よろしく皆様にお伝え願います。

21世紀を見つめて新しい生活づくり
街づくりに挑戦しております。



都市空間のバイオニア エム・ケー株式会社
東京都日野市三沢1199-6 TEL 0425(94)1771
代表取締役 小林 勁 (高13回)

健康への責任を……

胃癌の手術をして……

E組担任 清 沢 清

皆さん、こんにちは。お元氣のことと思います。

皆さんが県陵を卒業されてからもう三十年もたったんですね。「光陰矢の如し」とはよく言われますが、本当に月日の過ぎ去るのは早いものです。この三十年間、皆さんは着々と自分の地位を固め、自分の城をしつかりと築き、守り抜いて来られたものと思います。皆さんのその真摯な努力には敬意を表わしたいと思えます。さて皆さん、仮りに六十才を定年とすると、あと十余年で定年を迎えることとなりますね。油が乗り切っておられ、頑張っておられる皆さんの事ですから、すでに計画済みの事だろろうと思われませんが、これらの計画を実行される一番基本になるのが、健康であるということに常に念頭においておいてほしいと思えます。私が退職して年老いてみると健康がいかに大切であるかということを感じます。私は三年前、胃癌の手術をして三分の二ほど切除してしまつたのですが、幸いにも初期癌だったので助かりました。発見が早かつたので自分で言うのも変ですが、体にいつて割合に注意深かつたためだと思つていきます。何かの役に立つかも知れませんが一寸お話ししてみます。その頃、夜中の

往時の想い出を求められて

F組担任 小林 哲彦

人には、もう動かしようのない自分の過去はできるだけ美しく大切に保存しようとする防衛本能があるのでしょうか。三十年昔のその頃をひたすらなつかしく楽しく思い出しています。県陵にはその後、昭和六十年まで再度奉職させていただいたのでどうしてその今昔のコントラストについて一言申し上げたくなるわけですね。

当時、僅少数の女子は男子の視線の中でよく自分の事を自覚していたようで、その態度、努力、品位は今の四十パーセントもいる女子と比較してみても大變立派であつたと思つています。そんな女子をどうして自分のクラス

り、更には自分の体には特に体臭は無かつたのに、脇の下や特に汗をかくような所に異様な臭いを感じるようになりました。あれやこれや考え併せて変だと思つて再度医者の所へ行き、レントゲン透視検査をしてもらつたが、異状は見つかりませんでした。でも納得出来なかつたので、その医者の紹介で松本医師会へ行き胃カメラを飲んで検査してもらい見ました。結果は潰瘍の部分が発見され、更に細胞の摘出検査をした結果、癌細胞のある事がわかりました。急速入院手続きを取り翌日入院、諸検査の後、胃癌の手術という結

果になりました。いま考えてみると色々な症状状況を考え併せて、すばやく決断して手術をしたのが好結果につながつたような気がします。それと一人だけの医者でなく、自分の納得行くまで追求していくということが大切だと思つていました。自分の大切な人生は自分で責任を持たねばなりませんね。どうか皆さんも、これを「他山の石」として、自分の体には常々細心の注意を払つて長生きをして下さい。よい人生を送つて下さい。皆さんのご多幸をはかるかなる信州の空から祈つております。(H2・4・19記)

には配当してくれないのかと文句を言った男子がいました。もつともその男子生徒は卒業する時は、男子だけのクラスであつた事が、むしろ良い思い出になるとコメントしていました。学力別の生徒の学習集団の編成は、その功罪は別にして、今ではあのような形では、どうても考えられない事でした。コンパは公民館か学校を借用して、もぐりにしても一般飲食店を利用するなど全く考えられない事でしたね。当時はかなりなり就職者も今は極めて珍しくなり、進学オンリーの傾向であるのに、努力して家庭で学習する時間は三年単位が合はると思つています。

不動産鑑定事務所

不動産鑑定士
横山 正
(高13回卒)

〒173 板橋区大谷口北町46-12
TEL 03-974-5431
FAX 03-974-5435

財団法人 穂積社会事業財団

理事長
木下 勝四郎
(高14回)

〒130 東京都墨田区江東橋4-29-13
中央ビル
☎ 03(635)6566

タイガー印スポーツ用品

株式会社 **タイガー**
代表取締役 **奥原 輝男**
(高15回)

〒113 東京都文京区弥生2-5-3
TEL 03-818-8251
FAX 03-818-8252

思い出の遠足

G組担任 神田寛

何にせよ、あの頃は私も若かったし、教師としての経験も浅く、むしろ生徒諸君から教えられることの方が多かったように思う。あの当時の県ヶ丘高校の生徒諸君は、私の現在の意識の中には、最近の高校生よりもずっと分別をわきまえた大人として浮かび上ってくるのである。それでいて素朴で人なつこく素直に教師を受け入れるところがあつた。近頃聞かれるような深刻な暴力や登校拒否というような問題は全く耳にすることもなく、生徒諸君はいざ知らず、私にとつては非常に楽しい、又思い出の多い二年間であつた。あの二年間には余りでも沢山のことが詰まっていたので、不思議なことに、まるで十年もいたような気がするのである。

その中でも袴越山に遠足をした時のことはいろいろな意味で特に忘れたい。私が担任であつたG組では、なかなかの硬骨漢が揃つていて、遠足の目的地をクラス討議で決める際に、乗物を利用するのは遠足ではないと主張する人が多く、全行程を歩くという条件で袴越山に登ることに決定した。当日朝学校を揃つて出発したものがG組は、これまた今の車社会の高校生には想像もつかないような健脚揃い、忽ち脚の弱い私をおいてきぼりにして、もの三十分も経たないうちに大方の諸君は

ポートが浮かんでいて、それが何とクラスの生徒たちが漕いでいたというわけである。

私は慌てて岸辺から大声で、「上がれ」と叫ぶと、彼等は即

刻素直に岸に上がった。喉まで出かかったお説教もひっこめ、穏やかに解散を宣言し、この波乱の遠足も一応大事なく終了ということになった。しかし内心、教師不在のままで起きたかもしれない水の事故のことを考えて冷やっとしたことである。

翌日校長室に呼ばれ、一体何の用だろうと訝りながら入つて行くと、校長の平林圭介先生と教頭の山田石男先生が待ち構えていて、「昨日の遠足で、生徒たちにはポートに乗るのを許したのはどういうことか、釈明せよ。」というわけで油を絞られた。勿論、自分の不手際というところで、ひたすら私は謝るばかりであつたが、これも今は楽しい思い出である。

自分の夢ばかりを追いかけている未熟な教師であつたが、ある意味で私よりはるかに大人であつた生徒諸君に支えられて、私はあの二年間を全うできた、信じている。そして諸君の愛情に満ちた眼差しが、美しい袴越山の芝草の匂いと共に、私の人生での最も幸福な時期の表象として、今ほのぼのと蘇ってくるのである。

C組担任 平林修先生を偲んで

昭和六十一年、病と闘つて、打ち勝つことが出来ず、亡くなられた平林先生のひととなりについて思い出すまま申し述べます。

私が果敢生になろうと思つたきっかけは、母の実家の親戚筋に、当時県陵に在任中の平林先生がいらしたためです。派手さは決してないものの、着実に一歩一歩を進めていく努力するタイプの先生であり、私が社会に出て教職に就いてからも、師のスタイルはそのままだ現在の私の模範とするところであります。

授業中、板書している先生は、チョークを持った手をふと止め、その手を生徒の方へ向けたまま、かなりの間を置くことをよくなさいました。「……ハイ、こんとこわかるかいな……」ひと渡り生徒の顔の一人一人をみてから再び黒板に戻る。こうした間を設けてくれたことで、わからないでいる私達に、追いつく時間を与えてくれたわけですね。

「トゲさ」の愛称で親しまれていた先生ですが、角の無い穏やかな性格で、地味な努力を重ねる事を好んでなさる方でした。

昭和四十八年、六十才で県ヶ丘高校を退職され、その後八年程、市内の子備校で講師を続けいらつしやいました。病いの床について長く療養されていましたが、昭和六十一年九月二日、七十七才の生涯を閉じられました。

慎んで師の御冥福をお祈り申し上げます。

(西山明彦記)

UCIYAM YUGADO CO.,LTD.
 コマーシャルデザイン材料の
 トータルショップ
 テレビ・ムービー・タイトル
 アニメーション・設計機器
 O.A.機器
 N.A.B規格品発売元
 日本民間放送連盟御用店
株式会社 内山悠画堂
 内山 勝 (高12回)
 〒104 中央区八重洲2丁目6番16号 北村ビル2階
 TEL (271)9273-7659

肥料卸業 (長野県含む)
小沢商会
 代表 小沢孝徳 (高12回卒)
 〒340 埼玉県草加市手代町50-59
 TEL 0489-28-3364

不動産一般
株式会社 セイトク 宮川事務所
 宮川 政男 (高12回卒)
 〒243-04 神奈川県海老名市国分374-5
 TEL 0462-33-8977
 FAX 0462-33-9071

大島紀行

旅の友情



4月29日、早朝の空から低くたれこめた雲が吹きだす風は、強く横殴りに当たり、船旅の興奮で寝着かなくなった私達八人は、容赦なくこの風にさらされた。昨夜、竹芝橋を渡ったカメリア丸は予定では元町港に入るはずであった。この風と高い波はしかしそれを拒み、島の反対側である岡田港への入港となったが、風が吹かれよるめきながらでも冗談を飛ばして高笑いしている私達には、まったく頓着しないことであった。

入港の連絡を受けたものか迎える車が、まだ梱包していない笑い声をそのまゝ運んでいってくれた。宿に直行した私達は、冷えた体を朝風呂で温め、心地が良かったところで朝食の膳についた。窓の外は大きな如雨露でまいたようなスコールになっていたのに、軽口が飛び交う食卓では相変わらず笑い声が絶えなかった。

一年前の今日、すでに私達の今回の旅が決まっていた。果敢演劇部の11、14回同志はそれまでもしばらく顔を合わすチャンスが無かった。昨年、声を掛け皆で逢う機

会を得て、お互いにこんな楽しい仲間が卒業後30年も経つたとき、とても大切なものに思えた。ならば次の機会もこの場で決めよう、と、松本駅前の小料理屋で仲間の全員が賛成し、再会を約束したのがこの大島への旅であった。

発案したY先輩と幹事御意見番のO先輩が段取りをしてくれ仲間には送られた葉書きに「マカセタ、ヨロシク」と記入よって、参加の意志を伝えるだけでよかった。というのも、30年前の友情とお互いの信頼がそのまま渡された旅の日程表とその添え文から読み取れ、皆との再会にときめく胸の高鳴りは少年少女のようであった。

いつの間にか雨は上り、萌黄色の木立ちを通して眩しいばかりの朝の光が我々の笑い声を鎮めた。昨日まで雑踏の中をかけたきた我々にとつて、それは一幅の名画を見る情景であった。

2、3月頃、大島の椿は見頃であり、もうこの時期に花はなく、青く艶やかな葉に太陽の光がいっぱいに当たっている。もう初夏といえるだろう。朝、港に着いた時の曇空が嘘のように晴れ上がり、御神火スカイラインを走る車の中にまで海に反射した光が跳ね返ってくるようである。

昭和61年、大島をいや日本国中を驚愕させた大噴火があったことなど信じられない程の穏やかさに満ちた景色である。山頂口で車をおりて溶岩流の先端まで歩いた。ブスブスと鈍い音をたてながら気味の悪い程、確実に動いてきた溶岩の流れがここで止まったので



あろう。我々が写真を撮ったその場所は、少し上の噴火口に近い岩流跡より高く、冷えた岩石が無秩序にカラミ合って固まっていた。人類に向けて怒った自然が、その力をまのあたりまで誇示しに来たのだろう。岩に見入っている私に同輩のTが、いつものチャチを飛ばした。

「我々の青春はこれ以上のエネルギーだったよな。」

私の返事を持たずにO先輩は、「オマエの青春なんざあ、この勢いに比べりゃ、もぐさにつけそこなった線香の火だよ。」

笑いを期待していたTも一緒になつて笑っている。外輪山の一番高い所まで戻って改めて広角レンズでみた風景の真ん中にある三原山をみた。巨大な溶岩流の全貌が目に入り、地の底からの不気味な鼓動が足を伝わり、この身を振るわせるのではないかと思つた。

しかし澄み切った空は青く、光る大地は静かであった。そして木々は今朝の雨に洗われ、初夏の陽光を受けて

編集後記

「若い力、育ってほしい！」

ふたことめには「今どきの若い者は……云々」と批判する先輩だつて、昔の若い頃は同じ批判を受けていたにちがいありません。だからその批判にめげずに君達の意志を貫いていこうではありませんか。

常識、マニュアル、ワンパターンを打破する勇気を持って下さい。新しい感覚や、センスは、君達独自のものです。それを駆使して日々の生活や趣味の文化から始め、果ては政治経済、宇宙開発に至るまで、君達の手腕を活かす場は無尽蔵。

熱烈な迫力で突進し、諸君が実社会で活躍しているとき、ふと心のオアシスの一つになるのが昔の友と語りあえる場所。

そんな私たちで、果敢東京同窓会を若い君達の新しいセンスと、新しい感覚で引き継いでいってもらいたいことを願って編集担当のあとがきとします。

(百瀬)

都市開発、マンション、商業ビル

株式会社 大賢ホーム

代表取締役 雨森紀彦 (高12回卒)

〒157 世田谷区南島山6-6-26
サンマルシェ本館2F
TEL 03-300-0292
FAX 03-300-0251

三菱石油代理店
自動車パーツ製造

有限会社 滝沢商店

代表取締役 滝沢興乙 (高12回卒)

〒252 藤沢市高倉910-12
TEL 0466-44-4931
FAX 0466-45-5040

税理士 多田允彦 (高12回卒)

事務所 渋谷区幡ヶ谷2-20-8
〒151 アルム幡ヶ谷215
TEL 03-378-5855
横浜市区緑区美しが丘1-2-606
TEL 045-901-1057

自宅